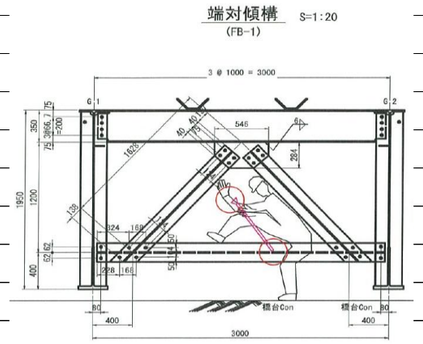
橋梁桁下を移動中、持っていた工具で腕を切る

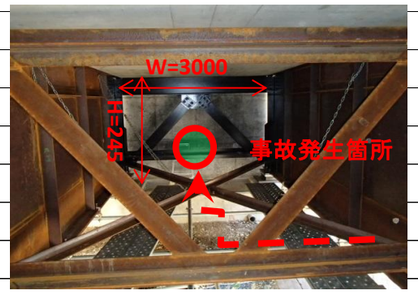
切れこすれー５

災害発生時記録	発生月日　時	10月6日（月）11時10分頃	工事内容	林道改良工事（橋梁工、土工、路盤工、防鹿柵　設置・撤去工他一式）		
	被災者	職種	型わく工	経験年	39	所属	一次下請け
	被災程度	四肢動脈損傷（左橈骨動脈）				

災害発生状況（写真）

当日は、A1・A2橋台の桁下で伸縮装置部分の清掃作業を2名で行っていた。被災者はA2伸縮装置部分の清掃が終わり、A1へ行くために道具類を持って桁下の対傾構のすき間を移動していた時、持っていたスクレーパー（L=600）の柄が対傾構に接触し、その反動で刃部が左前腕部に当たり負傷した。





初期の対策状況含む事項(写真含)

出血が多量だったことから直ぐに救急車を要請したが現場が山間部で遠かったため、到着に時間を要した。その間、救急隊の指示に基づき止血を行ったが出血が止まらず、かなりの出血量となった。その情報を受けた救急隊が地元では対応できないと判断し、ドクターヘリを要請し設備が整った病院へ搬送した。そこで緊急血管形成手術を行い約2週間の入院となった。

番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	刃先が身体に接触することを想定していなかったこと	○	◎		1. 作業をしていない時は、刃先部分に防護カバーを取り付ける	
2	物を持って無理な態勢で狭い場所を通り抜けようとしたこと（近道行為）	◎			2. 移動は安全通路を使用するよう指導を徹底する	

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的・物的・管理的)に関係・該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）